

日本とEUの関係が政治的な分岐点を迎えている。経済力を背景にプレゼンスを高める中国、自国第一主義を掲げるアメリカ、EUを離脱する英国などにより国際情勢の変化が生じ、多国間主義と逆行する動きが広がりを見せ、国際協調、民主主義、法の支配など、普遍的価値観を共有する日本とEUが、このタイミングで接近するのは自然な流れと言える。

だが、経済統合の理念で生まれ、共通のルールを受け入れ、国際協調の先達であるEU自身は、内実は協調主義の下で各国の価値観とどう折り合いをつけていくかという難しい舵取りが求められている。EUの盟主ドイツは、財政問題を抱える東欧・南欧の存在がなければ自国経済が成り立たない持ちつ持たれつのジレンマを抱え、東欧・南欧は、労働力をEUに提供しつつロシアや中国との距離をレバレッジに使うEUとの調整を試みるなど、EUの入り組んだ構成要素の現実を踏まえなければ、復興基金の創設やグリーンディールなどのEUの動きを把握するのは難しい。

日本とEUとの距離が一段と近づく今日、エリアとして欧州をどのように位置付けるのか、欧州企業とどう向き合い、事業活動に反映させていくのか。未来に向けてEUとの協調はどうあるべきなのか、改めて考えるタイミングが到来している。

総務部長 田丸伸介

海外投融資

Vol.29 No.5 (通巻173号)
2020年9月25日発行

発行

一般財団法人 海外投融資情報財団

発行人

日塔 貴昭

〒102-0073

東京都千代田区九段北二丁目

3番6号 九段北二丁目ビル

TEL. 03-5210-3311 (代)

URL. www.joi.or.jp

制作協力

(株)エディポック

*本誌に掲載されている記事の内容や意見は、海外投融資情報財団の公式見解を示すものではありません。

●禁 無断転載

All rights reserved. No part of this magazine may be reproduced in any form or in any means without written permission from the publisher.
©Japan Institute for Overseas Investment Printed in Japan



九段だより

バーのある人生 (8) バーのガイドブック

「誰にとってもいいバーなんて存在しない。それは自分の感覚を頼りに見つけるものだ」などと、これまで私は知ったような顔で周囲に言ってきた。かくいう私、まったく逆のことを書くが、実はあるバーのガイドブックをずっと頼りにしてきた。

「なーんだ、やっぱりアンチョコがあるのか」と読者諸氏は思われるだろう。しかしそれは書店のグルメ本や情報誌のコーナーには置いていない。美術書の棚にひっそり並ぶ切り絵の本である。

それは成田一徹著「To The Bar」という。1998年に単行本、2006年に文庫版が発刊された。私が最初に入手したのは文庫版で、東京や関西の74軒のバーが見開き毎に切り絵と短い文章で紹介されていた。線



代々木上原カエサリオン：暗がりの店内にマスターの白いバーコートが映える

とそれが分かっ白と黒の面だけで表現する切り絵はバーの魅力を映し出す仕掛けとしてピッタリで、添えられた文章に記された著者の酒徒としての眼差しにも私は魅了された。

映画の撮影地を訪れる「聖地巡礼」という観光スタイルが最近流行りだが、切り絵がきっかけで訪問した店もある。その1つが神戸のYANAGASEである。どこか浮世離れた廻り階段を上り客が店に入るシーン。そんな切り絵の

風景を求めて私は大阪に転勤した2008年にこの店を訪れた。三宮駅から北野坂、不動坂をゆるゆると上がり、左手にあの廻り階段が不意に見えたときの感覚は今でも忘れられない。おとぎの世界が目の前に現れたような……。店内も暖炉が設えられた雰囲気に満ちた空間で、私は神戸という街の底力を感じながらマティーニを飲んだ。

成田さんは2012年10月に63歳で急逝された。したがって新作が発表されることもなくなってしまった。「To The Bar」は、単行本、文庫版に加えて没後に出された集大成版があるが、現在はいずれも絶版状態のようで中古のみ入手可能である。

これらには成田さんが愛した日本各地のバー、バーテンダーの切り絵が収められているが、集大成版の最後に他とは一線画する作品が収められている。それは氏がニューヨークの酒場で感じ取ったイメージを切ったと思われる作品である。構図一杯に描かれた大きなグラス、その中で様々な人々がバーで幸せそうに酔い、浮遊している様子がファンタジックに描かれている。

私は、この切り絵に込められた酒場の世界観がとても好きだ。



神戸YANAGASE



ニューヨークの酒場にて

専務理事 日塔 貴昭